

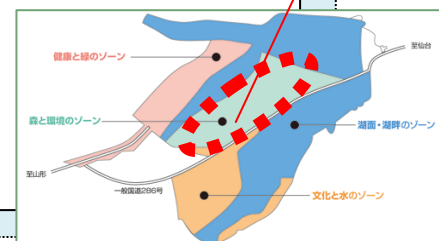
みちのく森の楽校だより 7月号



みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



7月23日(土) 晴れ 木工体験！

夏休みに入って最初の土曜日、今日は晴れ、暑い一日でした。先月の伐倒体験に続いて、切った木を板にして木工体験をしました。板はボランティアが予め準備しておきました。家族ごとに作戦会議をして、思い思いの作品を作りましたよ。夏休みの工作の宿題にもなるかも！

夏野菜の収穫！

朝、小野分校脇の畑で今日の食材の収穫をしました。ほんの小さな、雑草の生い茂っている畑ですが、いろいろな野菜ができていますよ。

キュウリは今年は素晴らしい出来です。苗から育てたもの、種から育てたもの、両方から収穫できました。育ち過ぎたおぼけキュウリもあって、今日はキュウリ尽くしかな？他には、ズッキーニ、ミニトマト。



ジャガイモの収穫もしました。ジャガイモは、葉っぱが虫に食べられてしまい、あまり大きくなりませんでした。残念でした！



これらの食材を活用して、今日の食事は、夏野菜カレーとカマドご飯、キュウリいろいろ（酢の物、寒麴漬け、炒めもの、モロキュウ）、ふかし新ジャガ。

食後はかき氷。シロップは、クワの実ジャム、梅ジャム、梅サワー。すべて里山産です！



木工体験

材料の板材は、ボランティアが板挽きをしておいたもの。生木に近いので、重いです。

参考となる作品を作っておいたので、これをヒントに家族ごとに作戦会議を開きました。

板の寸法取りをして、のこぎりで切ります。まっすぐ切れるかな？その後、きれいに仕上げるために、紙やすりをかけています。これは大変な作業です。組み立てたら、ビスで留めます。最後に焼印を押して、できあがり！



のこぎりで切る



磨き



ビス留め



焼印

作品をご覧あれ！

これが各人の作品です。達成感あふれる笑顔！どれも力作ですね！

